

四條畷市総合教育会議（令和5年度第1回）  
会議録

四 條 畷 市

1 令和5年10月25日 午後1時30分 四條畷市役所東別館201会議室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市	長	東	修平
教	育	長	植田 篤司
教育長職務代理者		山本	博資
教	育	委	員 佃 千春
教	育	委	員 河田 文
教	育	委	員 尾崎 靖二

3 事務局出席者

総合政策部長	西尾 佳岐	教育部長	阪本 武郎
教育部次長	花岡 純	教育部副参事	賀藤 久道
兼学校教育課長		兼学校給食センター所長	
教育総務課長	古市 靖之	教育支援センター長兼	広谷 光輝
		学校教育課指導担当課長	
青少年育成課長	勝村 隆彦	スポーツ・文化財振興課長	神本 かおり
文化・公民館振興課長	安田 美有希	図書館長兼主任兼	田中 学
兼公民館館長		田原図書館主任	
教育総務課長代理兼主任	木邨 勇貴	子ども未来部次長	川中 亜希子
		兼健康福祉部副参事	
		兼教育部副参事	
子育て総合支援	田中 健吾	秘書政策課長	板谷 ひと美
センター施設長			
		秘書政策課長代理兼主任	松木田 智美

4 会議録作成者

秘書政策課長代理兼主任 松木田 智美

5 案件

- (1) 令和6年度の教育施策について
- (2) その他

総合政策部長	<p>それでは定刻になりましたので、令和5年度第1回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。本日は、全員のご出席をいただいております。</p> <p>今回は、次第に記載しておりますとおり、次年度の予算要求を前に、令和6年度の教育施策について、教育委員会の皆さまと市長の意見交換を行うため、お集まりいただいております。</p> <p>本日も、円滑な会議の進行にご協力をお願い申し上げます。</p> <p>なお、会議録作成のため、本日のご発言内容を録音させていただきます。ご発言の際はマイクをお使いいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、市長から挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>皆さま、こんにちは。</p> <p>本日は公私お忙しい中にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>振り返りますと、前回は、令和5年2月に四條畷市個別施設計画【公共施設】(令和5年4月改定版)(原案)を取り上げ、パブリックコメントに付する前段の内容について、担当部局からの説明と、意見交換を行わせていただきました。こちらについては、その後、パブリックコメントの実施及び市議会による審議並びに議決を経て、計画の改定に至っており、今年度の上半期には、実行に向けた情報整理や今後の着実な整備の推進に向けて、それを所掌する組織のあり方の検討に着手してまいりました。</p> <p>本日の会議では、令和6年度の予算要求を前に、次年度の教育施策について、意見交換を行いたいと思います。午前中には、教育委員会定例会で同内容を審議されたと聞き及んでおります。</p> <p>所管課や教育委員の皆さんの思いを聞かせていただきながら、忌憚の無い意見交換ができれば幸いです。</p> <p>以上、簡単ではございませんが、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
総合政策部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議題に入らせていただきたいと思います。</p> <p>市長、以降の会議の進行をよろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、お手元の次第に従いまして進めてまいります。</p> <p>まずは、次第1 令和6年度の教育施策について、説明をお願いしたいと思います。</p>

<p>教育部長</p>	<p>10月13日に市長から出された令和6年度予算編成方針では、「日本一前向きな市役所」という組織運営理念を掲げ、人事戦略基本方針の3つのポリシーである「挑戦」、「共感」、「連携」を大切にしたいと言及されています。</p> <p>挑戦では、職員それぞれの新たな発想を、共感では、常に市民寄り添い、待つ姿勢ではなく常に市民の視点に立つ予防保全型の行政を、そして連携では、絶えず事業を見直し、行政にしかできないことに注力するとしています。</p> <p>教育委員会としましては、主力事業を提案するなか、学校施設の老朽化対策への予備調査、GIGAスクール構想、教職員の働き方改革に資する事業、文化財保存活用地域計画の策定や貸出図書配達事業など、部内連携をとりながら予算要求を行ってまいりたいと考えております。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>まず、教育総務課における令和6年度当初予算要求に盛り込む施策、事業については、主に3つの新規事業の予算要求を行います。</p> <p>1つめは、市立四條畷小学校老朽化対策における整備可能性調査委託（予備調査その1）です。四條畷小学校校舎の竣工より最も古い校舎棟で築60年をまもなく迎え、所々でコンクリートの劣化、インフラの老朽（水漏れ等）等が進んでいる状況です。老朽化対策を行うにあたり、まずは地質調査を行い、断層の有無の確認、液状化の可能性の有無の確認の上、四條畷小学校の現敷地の整備の可能性を探るため、予算要求を行います。</p> <p>2つめは、小中学校空調機器洗浄委託事業です。内容としては、小中学校の校舎及び屋内運動場に設置している空調機器（室内機）の分解洗浄を民間業者に委託します。令和6年度は、3年度に整備した全小中学校の屋内運動場の空調機器及び四條畷南小学校、くすのき小学校及び田原中学校の計3校の校舎棟の空調機器の予算要求を行います。</p> <p>最後に、3つめは、市立小中学校における境界確定等に伴う測量業務委託でございます。現在、境界を確定できていない小中学校への境界確定及び公図内の里道・水路の整理を行うため、測量業務を委託いたします。</p> <p>実施予定校は、令和6年度に四條畷小学校及び岡部小学校、7年度以降も他の学校を順次実施したく考えております。</p> <p>以上で3事業でございます。</p>

<p>教育部次長兼学校教育課長</p>	<p>続いて学校教育課より、予算要求事務について説明させていただきます。6点あり、うち2点の水泳学習等につきましては、広谷担当課長より説明させていただきます。</p> <p>私から、1点め、教頭マネジメント支援員配置事業についてです。</p> <p>市立小中学校3校に、各校1人、合計3人の教頭マネジメント支援員を配置し、教職員の勤務管理事務の支援、施設管理、保護者や外部との連絡調整、調査、統計への回答等の業務を担い、とりわけ中規模校以上の小中学校における教頭の厳しい勤務実態を改善できるようにすることとしています。</p> <p>2点めは、教員業務支援員配置事業についてです。</p> <p>市立各小中学校に、各校1人、合計9人の教員業務支援員を配置し、学習プリントの準備や電話対応、行事等の準備補助等の業務を担い、教師の負担軽減を図り、教師が児童生徒の指導や教材研究等により注力できるようにすることとしています。</p> <p>3点めは、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援体制整備です。</p> <p>通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活や学習活動を行う上での合理的配慮提供のための特別教育支援員を小学校に増員配置し、学校の支援体制整備を行うものです。</p> <p>4点めは、部活動指導員に関する事務です。</p> <p>地域人材を部活動指導員として配置し、学校の働き方改革を推進するため、次年度の予算拡充として、部活動指導員の引率に係る交通費の拡充を図ります。</p>
<p>教育支援センター長兼学校教育課指導担当課長</p>	<p>つづきまして、小学校水泳学習民間委託業務についてご説明します。これまで、市内小学校3校で水泳学習民間委託事業を実施し、子どもたちの泳力向上、教職員の負担軽減を図り、泳げる子よりも泳げない子の割合が非常に減ったという結果が出ております。</p> <p>来年度は、市内西部地区5小学校に事業を拡大するとともに、東部地区1校にも専門的な指導者を派遣し、全小学校で質の高い水泳授業を行うものです。</p> <p>なお、9番は、東部地区小学校1校と3中学校の教職員の負担軽減を趣旨に、プール清掃の業務委託を行うものとなっています。</p>
<p>教育部副参事兼学校給食センター所長</p>	<p>令和6年度当初予算要求に盛り込む施策、事業について、学校給食センターでは5点がございます。</p> <p>まず1点めは、献立作成業務です。令和6年度末をもって大阪府</p>

	<p>学校給食会が献立ソフトの貸出しを終了するため、今後は、本市で献立ソフトを導入する必要があるため、栄養教諭が手動で行っている献立作成業務を自動化できるソフトを導入したいと考えています。</p> <p>2点め、学校給食費の完全無償化についてです。子育て世帯に必要な支援を行うため、給食費の負担軽減として、学校給食費の完全無償化を実施するものです。</p> <p>3点め、親子料理教室の開催について、学校や地域に密着した事業として、学校給食の現場で活躍している栄養教諭や調理委託業者が中心となり、事業を実施するものでございます。</p> <p>4点め、保存食保管庫の建設についてです。現在、学校給食センターに適正な保管場所がないことから、学校給食センターの駐車場に保存食等を保管する保管庫を建設したいと考えています。</p> <p>最後5点め、修繕計画に基づく厨房機器等の更新です。</p> <p>令和4年11月策定した四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画をもとに、今後5年間で老朽化した厨房機器等の更新を行っていくものです。</p>
<p>教育支援センター長兼学校教育課指導担当課長</p>	<p>教育支援センターよりご説明させていただきます。</p> <p>GIGAスクールDXについて、来年度行う事業として、中学校への自動採点ソフト及びプログラミング教育教材の導入に加え、小学校のデジタル教科書、指導書の購入等を考えております。</p> <p>加えて、生徒指導充実に関する新規施策として、困難極める学校の諸課題に対応するためのスクールロイヤーの相談事業、増え続ける不登校児童生徒に対応する不登校対策支援員の全校配置、フリールームなわて相談員の勤務時間増、SC・SSWの報償費を府平均並みに上げ、活動時間の増等を考えております。</p>
<p>青少年育成課長</p>	<p>つづきまして、青少年育成課より令和6年度当初予算要求に盛り込む施策をご説明します。</p> <p>令和6年度は、ふれあい教室のICT化について検討を進めたいと考えております。システム及びアプリを導入することにより、保護者からの欠席連絡や出退室の確認をシステムで行えるようにし、利用者の利便性や安全性の向上を図るとともに、緊急時の一斉連絡等、早急で確実な対応が可能になるものと考えております。</p> <p>加えて、導入したパソコンを市のシステムにつなぐことにより、電話、FAX等でやり取りしている書類や報告を電子で行い、事務の効率化を図りたいと考えております。</p>

<p>スポーツ・文化財 振興課長</p>	<p>スポーツ・文化財振興課からは3点ございます。</p> <p>1点めは、四條畷市文化財保存活用地域計画策定事務です。文化財保護法第八十三条の三に基づく四條畷市文化財保存活用地域計画を、令和9年度の文化庁認定をめざし策定するものでございます。</p> <p>これにつきましては、計画策定により、市の文化財行政のめざす方向性が見える化し、文化財の次世代継承や郷土愛の醸成に取り組むものです。これにより、計画策定が条件の補助金、交付金の利用が可能になるものと考えております。</p> <p>2点め、田原城跡保存活用推進事務についてです。令和5年度に寄付採納が決定した田原城跡について、市史跡指定及び総合調査を行うとともに、適切に保存活用し、次世代へ継承したいと考えています。</p> <p>なお、策定中の飯盛城跡活用計画では、田原城跡も飯盛城跡も一体として盛り込まれており、田原城跡の保存活用についても、飯盛城跡と同様に進めていきたいと考えております。</p> <p>3点め、市民グラウンド防球ネット改修工事です。市民グラウンドの環境改善の一環として、近隣住民の家宅に軟式野球ボールが飛び込むのを防止し、市民の生命と安全を守り、快適に市民グラウンドで野球ができるよう、バックネット部昇降式天井ネットを設置するものでございます。</p>
<p>図書館長兼主任兼 田原図書館主任</p>	<p>図書館から3点です。</p> <p>まず1点めは、貸出し図書配達事業です。障がい、または高齢などの理由により、自力で図書館へ出向くのが困難になった市民の自宅に本を届けるものでございます。</p> <p>高齢化の進展により、窓口に立っておりましても、自力で図書館へ出向くのが困難な市民が年々増えている印象がございします。長く続けてきた読書の楽しみが失われるのは図書館職員として看過できず、また、今後もこのような状況は増加傾向をたどることが想定され、文字を読むことや、楽しみを継続することは健康寿命を延ばすことに資するため、こうした方々の図書館利用の継続を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>2点めは、図書館情報システム更新事業についてです。蔵書の管理や図書の貸出し及び返却等に使用する図書館情報システムについて、令和元年度導入のシステムを新規のものに入れ替えるものです。</p> <p>令和6年度で導入から5年を向かえるにあたり、保守サービスが終了となる機器が発生することから、安全なデータ管理と業務の円滑な運用を維持するため、更新したく考えております。</p>

<p>教育部長</p>	<p>新規システムは、I T技術を活用した新しいプログラムが標準装備となっており、業務上の効果にとどまらず、利用者へのサービス向上にも資するものと考えております。</p> <p>3点めは、第4次子ども読書活動推進計画策定記念事業についてです。第4次子ども読書活動推進計画の実施期間開始にあたり、子ども及びその保護者向けに記念事業を行うものでございます。</p> <p>計画初年度に、普段実施することのないような事業を行うことにより、子ども読書活動推進計画のP Rと読書活動の機運の向上を図りたく考えております。</p> <p>教育部全体といたしまして、予算編成方針のなか、「めざす未来」に掲げる成長による好循環を達成できるか否かの大きな別れ道となるこの瞬間、職員一人ひとりが成長を実感し、今以上に働きがいを感じる市役所をめざす。このなかで、教育部全体として積極的な予算要求につなげていきたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。23の項目につきまして、それぞれ担当課からご説明をいただきました。これらの説明に対しまして、委員の皆さまから補足やご意見等ありましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>午前の教育委員会定例会でも議論したところですが、説明いただきました23の事業について、教育委員会としては、来年度及び来年度以降も継続して必要なものと思っております。</p> <p>来年度の予算編成について、市長から「未来への投資」を掲げていただき、我々としても、他市にない学校をつくるためにはどういうことが未来への投資に繋がるのかを考えてきました。</p> <p>色々ありますが、一番大きな課題は学校の老朽化対策。安定した器がなければ子どもたちの教育ができません。すぐに片付くような問題ではないので、長い年月をかけて行っていかなければならない対策の一つと思っております。</p> <p>教育内容では、この間の学校教育を根本的に変えたG I G Aスクールが大事になると思っております。また、本市独自の施策としては、教育支援として例えば6番、16番、21番の支援。他市でも行っている支援かと思っておりますが、独自の先鋭的な事業で他市に負けない支援をすることで、子どもたちの学びを保証していくことが大事かと思っております。</p> <p>総論的なことではそういうことを感じていますが、学校の老朽化</p>



<p>市長</p>	<p>対策につきましては、一番古い四條畷小学校の対応が必要だと思っています。私は、先の学校再編整備に関わってきた想いがありますが、実現しようとしても物理的に実現できないことがあるため、その前提条件をクリアしていただきたいと思っています。そのためには、予備調査その1が非常に大事な部分になり、教育委員会が構想する小中一貫校や、義務教育学校も施設の整備が大前提となるので、それらについても予備調査を元に考える必要があると思います。</p> <p>続いて、GIGAスクールに関し、先般、学校の授業視察に行かせていただきました。子どもたちは生き生きと取り組んでいますし、GIGAが導入されることによって、すごく学校の雰囲気や授業のスタイルが変わるなと感じました。</p> <p>ただ、そうは思いつつ、他の教育委員の皆さんも同じ意見と思いますが、使う側の教員に相当な差を感じます。非常に努力をしていますが、初期の段階から比べると大分と進んでいると認識していますが、まだまだ遠いなど。そういう意見で支援員の充実が必要だと思っています。</p> <p>先生方を支援することで子どもたちの学びを高めることが必要だと思いますので、教育支援センターの15番については、ぜひとも充実をお願いしたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。まず老朽化対策についてですが、予算編成方針でも言及しておりますが、四條畷市は20年以上にわたり行財政改革に尽力してきた結果、公共施設整備基金も人口あたりになおすと北河内で最も多い積立額になっています。公債比率も非常に低くなってきており、黒字額も過去最高額になりました。こうした現状を踏まえた場合、こうしたハード面、最もお金のかかる費用については今後しっかりと投資することができる環境になってきていると感じております。教育委員会がめざす学校教育を行うに際し、どのような施設が相応しいのか、教育委員の皆さんで熟慮していただきながら、着々と前に進めていくことができればと思っております。</p> <p>GIGAスクールについては、令和2年度のコロナ禍に大きく導入をされたもので、当時の状況を思い返しますと、教育委員の皆さん、事務局の皆さんが一丸となった奮闘で、本市の場合は無事に導入できたのではないかと感じております。色々な市長さんのお話を聞いていても、難しさを抱えている市もあると聞いております。そうした中では、校長先生主導のもと、色々な工夫をされ、私も先般現場を見させていただきましたが、この数年でここまでの活用に至っ</p>
-----------	--

佃教育委員

ているのかと正直驚いたところです。

さらに、職務代理者からより良いものにといい声もございました。これは全国市長会でも、さかんに国と激論を交わしている分野でございまして、財政措置面も含め、教育委員の皆さんのお声を聞かせていただきながら、大阪府そして全国へとしっかりとお声を届けていきたいと思ひます。私がちょうど大阪府市長会の副会長で、担務が総務文教のトップになっていますので、大阪府に伝える際は、そうした面でもしっかりとやらせていただければと思ひます。ありがとうございました。ほか、いかがでしょうか。

市長からお話のありましたG I G Aスクールについて、令和2年度から英断をもって進めていただいたのは、何をもってもデジタルネイティブでいらっしゃる市長と教育長の強力なリーダーシップにほかならないと申し上げておきたいと思ひます。

私たちが何度か小中学校を見せていただく機会がございました。職務代理者がおしゃっていただいたように、生き生きと活用している姿を見ると同時に、やはりなかなか使い切れていない教員がいるのも事実でございまして。そういったことをもとにしながらい、どういった方向性でG I G Aスクール構想を進めたら良いのかということはい、教育長を中心に事務局が本当に一生懸命考えておられるところだと思ひますが、ハード面だけでなく、人をどう育てるかという観点がすごく大事で、教員が使わざるを得ない環境をどう作るか、使えない教員をどのように育てていくかを考えていく必要があります。もっと勉強してほしいと思ひのですが、先生方には多忙感や時間がないというネックがございまして。例えば、4番、5番の2つの事業が国から示された背景には、教員不足があるという国の悲しい状況のなかで、働き方改革も進めていかなければならない。どうしたら良いのか分からないといった状況があると思ひます。事業を出してくださったのはありがたいことだと思ひますが、これは使い方を間違えると、教員が楽をできるだけの事業になりがちであるという点で、事業の進め方については慎重に、でもしっかりと活用してほしいなと思ひます。教頭先生方は、職員室で教員と情報交換をしながら明るく活躍されていて、そういう先生がたくさんいらっしゃいますけれども、でもなぜそういったことに時間を割くことができないのか。先日、文部科学省の研修会で、北は福島から南は宮古島の先生方とオンラインで交流させていただきましたが、全国どこも同じ状況を話しておられました。それは、保護者の対応にかなりの時間を割かれている。この時間が少なくなれば、もっと教材研究や子ども

市長	<p>もたちのために時間を取れるのにといいた話をされているのを大阪だけではないのだという思いで聞かせていただきました。</p> <p>そういった時にキーワードとなるのが、地域の方々であり、そのような方々を巻き込んで助けていただくしかないねと共有したのですが、そういう観点でも教員業務支援事業で地域の方々に入り込んでいただき、お手伝いいただけることもあるでしょうし、マネジメント支援事業でも、やり方によっては地域から色々な方に入っていただくことで、教頭先生が明るく元気に、そして校長先生がもっと元気になっていただける可能性のある事業だと思いますので、こういった事業がうまくいくと良いなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。僭越ながら、令和2年度に策定をさせていただきました教育大綱には大きく5つの方針があります。そのうち、方針3には「教職員が“学び支え合える”学校」というのがあります。今、おしゃっていただきましたとおり、先生が学んでいける、お互い支え合っている、結果、子どもに向き合える環境を作ることができるというような記載をさせていただいておまして、まさに佀委員が言及いただいたことは、本市がめざす教育大綱の方針に非常に沿うことかなと思っております。</p> <p>ただ、同じく言及していただきましたとおり、4番、5番は非常に素晴らしい取組みである一方、人員配置系の事業というのは難しさをはらんでいるのも事実かと思えます。いわゆるBPRの観点で、本来その業務が必要なのか、どうすればその業務がもっと簡単になるのかという観点なくして人員配置だけをしてしまうと、結果的にその状態が続いてしまうことになってしまいますので、配置を増やす場合には、もっと効率的にできないか、やめるものはないか、そういう観点を踏まえた取組みを同時に進めていくのが現場の先生にとってもプラスになるのではないかと思います。そうした意味で、教育委員皆さんのリーダーシップに期待しているところです。</p> <p>また、保護者対応の件につきましては、学校現場だけでもないと思っております。本市も55,000人弱の市民の皆さんがおられますけれども、お声の多様さというのは、私が市長になった7年前と比べても多様化しているなど感じています。</p> <p>そういう意味では、学校の先生が子どもに向き合える体制をつくるというのは、すなわち市役所が市民の皆さんに向き合う体制をどう作っていくのかという軌を同じくするものかと思っております。これにつきましても、好事例となるよう、我々も教育委員会の皆さんに教えていただきながら、四條畷市役所として本来向き合うべ</p>
----	---

尾崎教育委員

き組織作りを共に行ってまいりたいと思っております。ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

7番の小学校水泳学習民間委託業務について、働き改革の視点もあろうかと思いますが、それよりも子どもたちにとってのプラスが大きいのではないかと考えています。

より質の高い教育の提供が望まれるなか、専門性の高い人が関わる。その一つが、従来の学校の組織を変えてでも、教科担任制を導入しなければならないということです。子ども、保護者のニーズが非常に多様ですので、そういった対応ができると非常に有効であると思います。

恥ずかしい話ですが、私も現場で水泳授業をしてまいりましたが、たくさん子どもたちを指導するのはなかなか難しい。インストラクターがおられますと、子どもを少人数化したり、段階的、合理的な指導をなさります。やはりプロだなと思う指導があり、同時に、安全性にも長けている。こういう取組みは、保護者にも大きなインパクトを与えていると思います。

下世話な話になり恐縮ですが、学校では泳げるようにはならないと言う保護者もいらっしゃいます。入学する前にスイミングスクールへ通わせないと泳げるようにはならない。また、夏期スイミングスクール講習会があり、殺到しているというようなこともあります。先生がという問題より、やはり難しさがあって、それを克服するためには、より専門的な対応が求められるということです。

田原小学校以外の5校につきましては、雨天でも寒くてもどんな時にでも予定どおり授業が行えます。これも大きな事だと思えます。他府県でも非常に効果をあげており、好評であると聞いています。より拡充できるように、ご尽力をお願いしたいです。

もう一つ、GIGAスクール構想について、職務代理者も佃委員もおっしゃったように、先生方がどう受け止め、それをどう子どもに返していくかがポイントになろうかと思えます。

広範囲に、迅速に、大量に、意見交換ができますので、従来の授業とは姿が変わった、大きな授業改善がなされる機器でございます。こういったものが使えるということは、新しい授業であるとか、新しい子ども像であるとか、そういったことに直接つながるものですので、非常に大事だと思っております。同時に、例えば中学3年生が使ったものを小学生1年生に使用するのは、やはり、なかなかスムーズにいかないということもありませんし、あるいは、子どもですので使っていると壊してしまうことがあります。端末につきましては

市長	<p>は、国の予算のこともあるので、そちらの関係もあろうかと思いますが、予備のものを十分に用意いただけるよう、ご配慮いただきたいです。</p> <p>もう1つは、ネットワークのことです。校務支援システムに、みんなが集中する時になかなか入れない、時間がすごくかかると聞きます。校務をペーパーレス化して、紙媒体なしでという学校もあろうかと思いますが、しかし、それぞれ先生の処理にタイムラグができると、逆にマイナスになります。専門的な職員を配置いただいていると聞いておりますので、インフラにつきましても、より強固になるような工夫を、ぜひこの点、よろしくお願ひしたいのと、財政的なバックアップをお願ひしたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。プールについては、お示しのとおり、少人数のグループで段階的に、さらに安全にということでしたが、少人数で、あるいは段階的にというのは、お示しのとおりプールだけのトレンドではないと思っております。世のなか全体として、そういう傾向にアろうかと思ひます。そういう意味では、先ほど広谷担当課長から、泳げない子の割合が大きく減ったというご報告もございましたが、より子どもに向き合う体制という意味では、充実していく方向性なのかなと思ひます。</p> <p>そのうえで、GIGAスクールの件についても言及いただきました。大量に色々な情報をやり取りできるようになるというお話で、先般、田原中学校の体育大会に行かせていただきました。体育大会のスローガンを、おそらく生徒が生徒に聞いたのではないかと思ひますが、スクールタクトか何かを使って、みんなにどういふ体育大会にしたいのかを聞いてスローガンを作ると。紙ですると大変だろふと思ひますが、おそらくGIGAスクール端末があるので、そういふこともできたんだろふと思ふと、生徒の活動にも大きな影響を与えていると非常に感じました。</p> <p>そういう意味でも、インフラ的なネットワーク。これは教育長も大変見識の深い領域でございますので、やはり先生も子どもたちもストレスを感じずに使っていける環境整備は非常に重要と思ひます。そのうえで、桁が違ふ額の予算が必要になってくる事業でもありますので、もちろん市としてもしっかりと財政状況を良いものにし続けていくと同時に、義務教育の範囲ですので、我々としても、国からの国費を強固に訴えていく姿勢を持ち続けたいと思ひます。</p> <p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
----	---

河田教育委員	<p>私は図書館貸出配達事業がとても良いなと思いました。図書館に行きたいけど、なかなか行けない。本を読みたいけど、読みに行くことができない。「できない」を「できる」ようにする積極的な支援、サービスという点では、とても良いと思いました。</p> <p>「できない」を「できる」に変えるもう1つの事業として、部活動指導員の配置ですが、ずいぶん長い間課題となっている点だと思います。予算がついたとしても、配置することがなかなか難しいことでもあると思いますが、どのように人材を見つけていくのかという課題をクリアにして、子どもたちがやりたい部活が廃部になったり、やりたいものがないから入らないとか、やりたいのにできないということがないような仕組みを作っていただきたいと思います。</p> <p>先生方の働き方改革も、子どもたちの「やりたい」を実現するためのものだと思うので、ぜひそこにも力を入れていただければと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。はじめに貸出図書について言及いただきました。今回、23の予算という形で示していただいておりますが、特に21番の貸出図書配達事業は、冒頭に阪本教育部長よりございました、「挑戦」、「共感」、「連携」という本市の基本的な人事ポリシーの3つに叶った施策であろうと理解しています。先ほど、職務代理者よりありました、他市でもありますが、より本市の良さを出してきながら、市民に寄り添いつつ、行政にしかできないことに注力するという非常に魅力的な取組みであると感じているところです。</p> <p>部活動の件については、お示しのとおりで、部活動支援員に限らず、全国どこの市でも、どの分野でも、今は売り手市場で人手がないのが課題です。もちろん金額もあるのですが、四條畷市で働きたいと思っていただけるかどうかは競争の状況にあります。部活動支援員の場合ですと、おしゃっていただいた、子どもたちがやりたいと思える部活があるかどうかということもそうですし、福祉系分野においても、しっかりとニーズに応じていけるかという側面では、どうせ働くのなら四條畷市で働きたいと思っていただけるようなアイデア、工夫を教育委員会の皆さんにも知恵をいただきながら、全市的にしっかりと取り組んでいきたい分野であると考えています。ありがとうございます。そのほか、追加、補足などありましたら。</p>
山本教育長職務代理者	<p>先ほどから話が出ていますように、働き方改革で教員の負担を軽減するというのは、尾崎委員が小学校の水泳問題を言われましたが、結局、子どもの教育に還元しないと全く意味がないと思っています。</p>

市長	<p>あくまでも子どもの教育に還元するために、働き方改革、教育支援があるのだと考えています。</p> <p>そういう観点で、学びの視点、教育の視点で考えますと、子ども家庭総合支援拠点を作るという話が後で出てくるかと思いますが、子育て総合支援センターへ行かせていただいた際に、何と素晴らしい施設であり、何と素晴らしい運営をされているのだろうか。子どもたちが自由に遊べる部屋がありますし、お母さん方が、あるいはお父さん方が、専門的な先生の指導を受けることも可能で、素晴らしいと思います。それが拠点化されるということで、すごく評価しています。それ以外の部分について、先ほども触れましたが、図書館など、子どもたち、あるいは大人に対し、手厚いことをしていくということは、先ほど市長が言われた教育大綱の基本方針5 おせっかいの部分が入っているのと思いますので、それらを充実していく必要があると考えています。</p> <p>それを教育現場に持っていくと、先ほどの16番の教育センター、6番の学校教育課の教育的支援につながるかなと思っています。</p> <p>特に、この間、教育現場の出来事が法律で問われることが多くなってきているので、専門的な指導をいただくことは非常に重要なことかと思っておりますので、多くの市で行っているかと思っておりますが、スクールロイヤーの配置であるとか、本市ができていないところをぜひ拡充していただけたらと思います。</p> <p>私も、適応指導教室を見させていただいたことがありますが、かつての市の職員の方が献身的に運用されている実態ですので、さらに専門職が入ることで拡充していけばいいなと思います。教育的支援を受けなければならない子どもたちへの対応というのは、もっと充実できると考えていますので、さらに充実していただきたい施策と考えます。</p> <p>ありがとうございます。職務代理者からも教育大綱にふれていただきましたが、基本方針4にあります「福祉と教育の“切れめない”支援」。そういう意味では、子ども家庭総合拠点、後ほど議題にも上るかかと思っておりますが、まさに拠点という言葉が相応しいのかなと思っております。</p> <p>特に、本市の場合、献身的に取り組みを前に進めてくれる職員もおりますので、教育現場の皆さんと一層の連携をさせていただいて、枠組みをしっかりと構築していければと思います。</p> <p>大変難しいのが、教育的な取り組みというのは、腰を据えて長い時間をかけての構築が必要になる分野でもあると思っております、</p>
----	---

<p>教育長</p>	<p>矢継ぎ早にということが必要なものもあれば、きっちり長期にわたって構築していかなければならないものもあると認識しております。</p> <p>そういう意味でも、教育と福祉の現場がどのような形で長期的により良いタッグを組んでいけるか、今後も引き続き、意見交換させていただければと思います。ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>令和6年度の当初予算要求というところと、教育はさらに長いスパンも併せてということで、2つのキーワードでお話をさせていただければと思います。</p> <p>1つは、学校経営、運営のサポートという観点。もう1つは広い意味ですが、大人も含めた学びのプラットフォームという観点です。</p> <p>1点めは、お察しのとおりでございますが、どう学校をサポートするかという時に、とりわけ学校の先生でできない部分できない領域を外部エキスパートでカバーする。職務代理者もいくつかふれていただきましたように、ロイヤーであるとか、背景にある法化社会の大きな流れのなかで、学校の先生に法律の勉強はなかなか難しいわけですから、そういった意味でのエキスパートが重要と思います。支援でも同じようにエキスパートのキーワードが必要と思います。</p> <p>2つめの、学びのプラットフォームについては、子どもの方で言うとうとGIGAが出てくるわけですが、端末、タブレット、そういうものから入っていきますが、実はその向こう側にはクラウドの仕掛けがあって、さらにそのクラウドの向こうにはデータにつながっていて、そのデータがさまざま連携していくという仕組みが出てくる。例えば、学びのプラットフォームという意味ではeポータルなど、そういったものを併せて使っていける教員と子どもたち。教育並びにサポートの両面が成立していくというところにつながっていく。これは、全体的なアーキテクチャをしっかりと考えていかないと、付け足しではうまくいかないなということ、また、長期的な後押しといった考え方も必要と思いました。</p> <p>ご指摘にもありましたように、この根幹は、広帯域のネットワーク・クラウドシステムですから、国レベルの課題もあると思います。</p> <p>大人のプラットフォームでいうと、例えば図書館とか、話を広げると文化財もそうですが、学びの機会としての文化財があることで、広がり生まれるということも含め、しっかりと腰を据えて進めていきたいという思いであります。</p>
------------	---



<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。学校運営、経営のサポートという意味で、ロイヤーに言及をいただきましたが、この間、教育委員会事務局、教育支援センター職員の方等々と話をするなかで、子どもに対し、教育的にこのようにしていくのがいいのではないかという対応と、法律的に杓子定規に対応すべきことが背反する場合があつて、子どもの今後のことを考えるとこうしてあげた方が良いが、法律的には厳密に対応していった方が良いなど、非常に悩ましい問題もあり、且つ、その深さや頻度が増してきている状況にあつて、現場の先生方は非常に苦慮されているだろうことが推察されます。</p> <p>そういう意味では、先生方にどのように対応していくのが良いのかというところを、サポートという言葉が使われましたが、これは学校現場もそうですが、先ほどと同じく、市全体も同様でございます。しっかりと向き合っていないといけない問題であろうと思っています。</p> <p>学びのプラットフォームという観点では、最後に文化財に言及いただきましたが、おっしゃるとおりですし、公民館が果たす役割も非常に大きなものがあると思っています。</p> <p>現在、本市では、大人の学びなおしに注力しているところですが、大人が学んでないのに子どもに学べというのは無理な話でございます。親の背中をみて育つではないですが、大人も日々、色々なものに意欲的に学ぶ姿勢が、四條畷市の子どもたち、強いては市政にも好循環を及ぼすものと思っています。そういう意味では、社会教育の果たす役割というのは非常に大きいと感じているところです。ありがとうございます。そのほか、よろしいでしょうか。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>何度も発言して申し訳ないですが、今も教育長がふれられましたが、他市にはない本市の特色を活かすという意味でいうと、一番浮かぶのは、文化財のことかなと思っています。特に、来年度の予算を考えた時に、18、19番に挙げる、本市を代表する2つの文化財について、他市ではふれることができませんので、きっちりとした市としての文化財の保存に関する対応、あるいは他市、大阪府、国に対する情報発信が必要と思っています。</p> <p>それからもう1点、午前の教育委員会議でもあったのですが、学校給食の完全無償化について、予算措置にも相当な時間がかかると思いますが、これからの少子化を迎えるにあたり、多分どこの市も行っていく部分になるかと思しますので、財政の裏付けがあれば、先駆けて行うことも、本市の特色になるのではないかと思います。</p>

<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。本日の総合教育会議のなかで、私として非常に嬉しく感じるのが、こういうことを行うと良いのではないかと、ああいうことをもっと強化したら良いのではないかとといった、総合教育会議としてありがたい議論が行えているところです。財政が細ると、どうしても全てが保守的になり、どうにか最小で押さえたいかという発想になりがちなか、未来への投資をしっかりとしていく。15～64歳までの生産年齢人口の割合が統計的に北河内で一番多いという状況になり、市域全体の高齢化率が下がっている。これは若い世代が流入してきているということの言い換えで、この流れが続くとすれば、投資を続けていける循環への岐路に立っており、しっかりと投資はしていくけれども、財政には常に余力があるという、こういう市政運営を心がけていきたいと思っておりますので、引き続き、こうした活発な意見交換をさせていただければと思っております。ありがとうございます。次第1、そのほか、言い忘れていた等ありましたら。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>今、市長がそのようにおっしゃっていただきましたので、未来に絵を描く内容を少しお話しさせていただきたいと思っております。</p> <p>先ほどの第4次読書活動推進計画について、午前も議論しておりましたが、従来と違い、大人の読書という点に力を入れ、非常に良くできた計画になったと考えています。</p> <p>取り組まれた田中館長の思いがたくさん出ていると思うのですが、私がその中で一番関心を持ったところは、最後の説明にある地域の拠点としての図書館という部分です。</p> <p>少し注釈を加えますと、午前の教育委員会で地域のスペースのなかに図書館があるのであって、図書館のなかにスペースがあるのではないのですよと言ったのですが、以前に教育委員会の視察で、岐阜市の「みんなの森」とメディア施設に行かせていただきました。施設が木で作ってあるから森という名前がついている。公園のなかにあるのですが、図書館は地域のスクエアの中の1つを占めているだけで、一部分が図書館という考え方で、色々な機能を備えたスペースがあり、その2階の図書館にはすごく多くの市民が集まっています。本市にもそういう図書館ができれば良いなとずっと思っています。</p> <p>来年度の予算とは離れてしまいましたが、公共施設再編のなかで、図書館についての考えもあるのですが、ぜひ、田中館長が作られた読書活動推進計画の構想を活かせる形の図書館ができれば、大阪府内にはないような図書館になると思っています。</p>

<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。今後、パブリックコメント等の手続きに進むかと思いますが、私も第4次子ども読書活動推進計画、現段階のものを拝見させていただきました。7年経つなかで、様々な計画を見てきましたが、あれほど策定者の顔の見える計画というのはなかなかなくて、読み深めるほど、こちらの学びが深まるといいますか、知らなかったことも記載されており、大変勉強になりました。</p> <p>そこで言及されていたのが、これまで学校図書を含め、拡充を進めてきたものの、親御さんの読み聞かせの割合が減ってきているということのなかで、大人が読み聞かせをしないと、子どもに読書習慣がつかないといった記載もあって、大人の読書活動の推進がひいては子どもたちの読書活動の推進につながる。そういう意味で、地域の拠点という言葉をいただきました。今後、再編が進んでいきますが、何回前か覚えていませんが、尾崎委員の方から、南中跡地等に図書館のようなものを建ててはどうかというようなご提案をいただいた記憶がございます。そうした意味では、もちろん再編計画の方針がありますが、再編をしていくなかで、跡地なんかも出てまいります。歩いて行けるところに図書館があるというのは、本当に潤いのあるまちでしょうし、せっかく現時点で第4次読書活動推進計画にそうした記載をいただいているので、それらをまちづくりにどう反映していくのか、教育委員の皆さんのお知恵をお借りできたらと思っております。ありがとうございます。そのほか、よろしいでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、もしなければ次第1 令和6年度の教育施策については、終わらせていただきたいと思えます。</p> <p>次第2 その他 に移らせていただきます。</p>
<p>子育て総合支援センター施設長</p>	<p>貴重なお時間をいただきありがとうございます。子育て総合支援センターの田中と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>本日は、資料として配布させていただいております3つ折りのチラシをもとに説明させていただきたいと思えます。</p> <p>このたび、11月15日に子ども家庭総合支援拠点というものを開設させていただきたいと思っております、その報告をさせていただきます。</p> <p>先ずは、設置に至る法的な位置づけであったり、簡単な経緯を説明させていただきます。平成28年4月に児童福祉法の改正があり、市長村で地域の社会資源であったり、必要なサービスを有機的につなぎ、ソーシャルワークを中心とした機能を担う拠点を設置しまし</p>

市長	<p>ようという努力義務が規程されました。その機能を担う拠点が市町村子ども家庭総合支援拠点と言われるもので、噛み砕いていいますと、支援が必要な世帯を取りこぼすことなく、今まで以上に支援していこうというものであります。</p> <p>従前より、支援が必要な世帯への支援は、子育て総合支援センターを中心に行ってきたところですが、さらにもれなく充実した支援をとということで、子ども家庭総合支援拠点として、就学後の子ども、その家庭の支援を強化するべく、教育と福祉をより連携しようと考え、チラシ上部に記載の、子育て総合支援センターと教育支援センターの2つのセンターを子ども家庭総合支援拠点として、面的に支援を行ってまいります。</p> <p>チラシの下に記載の、ネウボラなわてについては、就学前の子どもの支援強化ということで、令和元年度から開設しており、子育て総合支援センターと保健センターの連携事業です。就学前がネウボラなわて、就学後が子ども家庭総合支援拠点という形で、それぞれが様々な機能と連携しながら、より一層支援を充実しようという取り組みです。</p> <p>これに基づく具体的な動きとしましては、就学後の支援強化として、子育て総合支援センターと教育支援センターのSSWや職員が概ね月1回程度、小中学校を訪問し、互いに顔の見える環境を作りながら、支援が必要な世帯の早期発見を行い、どう対応をしていくのが1番良いのかアセスメントを行い、様々な機関の連携により、適切な支援の充実を図っております。</p> <p>子ども家庭総合支援拠点の開設は11月15日と考えておりますが、先ほどの子育て総合支援センターと教育支援センターの連携や学校訪問は昨年度から実施しておりまして、拠点としての機能は一定、担ってきたものと考えております。</p> <p>本当は昨年度に看板を掲げることができればと考えておりましたが、国が示す職員配置の基準等を満たすのに一定の時間がかかってしまい、この11月になりましたが、正式な開設を機に、より一層の支援の充実に努めてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございました。ただいまのご説明に対しまして、委員の皆さまから何かご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
----	---

	<p>実際は、子育て総合支援センターで以前から取組みを行っていたものの、こうした名称を掲げる際の人員配置の関係から、11月のオープンになっております。いずれにしましても、引き続き、教育と福祉の連携を密にしていきながら、子どもたち、また、大人の皆さんをも支えていける体制を作ってまいりたいと考えております。ありがとうございます。その他にございますか。</p>
秘書政策課長	<p>説明の前に、本件報告については、機微情報を含む内容であることから、以降の内容について、地方行政の組織及び運営に関する法律第一条の四第6項に基づき、非公開でお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
市長	<p>以降の内容については、機微情報を含むため、地方行政の組織及び運営に関する法律第一条の四第6項に基づき、非公開にしたいと思いますが、委員の皆さまこれに異議はございますか。</p> <p>(異議なし)</p>
市長	<p>異議がないようですので、以降の会議は非公開といたします。</p> <p><b>非公開による会議</b></p>
市長	<p>ただ今から、会議を公開いたします。</p> <p>ほか、皆様から全体を通じてご意見があればと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>事務局もよろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回総合教育会議を閉会とさせていただきます。本日も、ありがとうございました。</p>